

令和3年

健康福祉委員会

3月24日

豊明市議会

健康福祉委員会会議録

令和3年3月24日

午後4時33分 開会

午後5時14分 閉会

1. 出席委員

委員長	郷右近 修	副委員長	いとう ひろし
委員	林 ゆきひろ	委員	近藤 ひろひで
委員	三浦 桂司	委員	清水 義昭
委員	一色 美智子		
議長	毛 受明 宏		

2. 欠席委員

なし

3. 職務のため出席した議会事務局職員の職、氏名

議会事務局長	鈴木 美智雄	議事課長	塚谷 友昭
庶務担当係長	山田 恵子	議事担当係長	寺島 慎二

4. 説明のため出席した者の職、氏名

市長	小浮 正典	副市長	土屋 正典
健康福祉部長	伊藤 正弘	健康長寿課長	浅井 俊一
子育て支援課長	川原 静恵		

5. 傍聴議員

服部 龍一	堀内 ちほ	中村 めぐみ	ごとう 学
青木 亮	宮本 英彦	鵜飼 貞雄	近藤 郁子
月岡 修一	ふじえ 真理子	近藤 善人	

6. 傍聴者

なし

午後4時33分開会

○健康福祉委員長（郷右近 修議員） それでは、ただいまより健康福祉委員会を開会いたします。

会議に先立ちまして、市長より御挨拶をお願いいたします。

小浮市長。

○市長（小浮正典君） 皆さん、お疲れさまでございます。

本日の健康福祉委員会に付託されました案件は1議案でございます。慎重なる審査をいただきますよう、どうぞよろしくをお願いいたします。

なお、本会議場で健康福祉部長がお答えしましたように、あくまで、いろんなワクチン接種のスケジュール等は今の想定です。そもそもワクチンの供給のタイミング、スピード、量、そういったことは非常に不明なことが多過ぎる状態なので、あくまで今の想定ですから、大幅に変更する場合、あるいは段階的に変更していく場合、いろんな形が想定されますので、それだけ御留意ください。お願いします。

○健康福祉委員長（郷右近 修議員） ありがとうございます。

続いて、議長より御挨拶をお願いいたします。

議長。

○議長（毛受明宏議員） 皆さん、お疲れさまです。健康福祉委員会に付託されました議案は一般会計補正予算1件でございます。慎重審査、よろしくをお願いいたします。

○健康福祉委員長（郷右近 修議員） ありがとうございます。

これより会議を開きます。

お諮りいたします。市長は自席待機といたしたいが、御異議ございませんか。

（異議なしの声あり）

○健康福祉委員長（郷右近 修議員） 御異議なしと認めます。よって、市長は退席願います。

なお、市長におかれましては、答弁を求める機会がある場合には御出席いただきますので、よろしくをお願いいたします。

（市長退席をなす）

○健康福祉委員長（郷右近 修議員） それでは、本日の傍聴については、申合せに従い15名以内とし、委員長において一般傍聴者の入室を許可いたします。

本日の議事につきましては、本委員会に付託されました案件について、お手元に配付いたしました議題に従い会議を進めてまいります。

当局におかれましては、反問権を行使される場合は、意思表示を明確にされ、論点を整

理して反問されますようお願いいたします。また、反問を終了するときにも意思表示を明確にされますようよろしくお願いいたします。

それでは、議案第39号 令和3年度豊明市一般会計補正予算（第1号）についてのうち、本委員会所管部分についてを議題といたします。

本案件について理事者の説明を求めます。

川原課長。

○子育て支援課長（川原静恵君） それでは、子育て支援課所管分につきまして御説明をいたします。

歳出について御説明いたしますので、補正予算書の8ページ、9ページを御覧ください。

3款2項1目、2 児童館等管理運営事業22万8,000円の増額です。

説明欄を御覧ください。

消耗品費は、児童クラブ等に設置します消毒液スタンドを購入するためです。

以上で説明を終わります。

○健康福祉委員長（郷右近 修議員） 続いて説明。

浅井課長。

○健康長寿課長（浅井俊一君） それでは、議案第39号 令和3年度豊明市一般会計補正予算書（第1号）の健康長寿課所管分について御説明をいたします。

では、歳出の御説明をしますので、8ページ、9ページをお願いいたします。

4款1項3目 健康推進費、3 新型感染症予防接種事業4億5,430万円は、新型コロナウイルスワクチン接種事業に伴う令和3年度の費用計上分となります。

既に令和2年度補正予算において計上しまして、繰越明許としてお認めいただいた部分を除いた計上をしたほか、接種会場までの移動が困難な高齢者に対する交通手段への助成を新たに予定したものでございます。

説明欄をお願いいたします。

1行目、新型コロナウイルスワクチン接種業務340万3,000円及びその下2行の会計年度任用職員関係の費用につきましては、データ入力や相談業務などを行う会計年度任用職員に係る費用でございます。

下から2行目の予約受付等委託料1億5,293万9,000円は、予約等に関するコールセンターの委託業務及び予約システムの運用、集団接種会場の運営、あと窓口における相談業務、事務局支援といった内容に対する委託分でございます。

一番下の予防接種委託料2億6,629万8,000円は、集団会場における医師等の接種体制の確保や、あとワクチン管理等に関する委託費用及び個別接種を行う各医療機関に対する接

種委託費用でございます。

おめくりいただきまして、11ページになります。

一番上の行の高齢者交通助成券作成委託料133万7,000円及び4段目になります高齢者交通支援負担金1,800万は、集団や個別接種の会場までの移動が困難な高齢者の支援を想定しまして、75歳以上の後期高齢者に対しタクシー利用助成券により助成を行う費用でございます。

下から3段目の土地等借上料132万円は、中央公民館会場での接種実施で想定されます駐車場の不足に対しまして駐車場の確保を行うというものでございます。

最下段の新型コロナウイルスワクチン接種事業費補助金72万円は、個別接種を行う医療機関に対しまして、全国統一の接種委託費用として含まれない部分の費用負担を補助するものでございます。

続いて、歳入の御説明をいたします。

4ページ、5ページをお願いいたします。

中段の表になります。

14款 1項2目1節 説明欄の新型感染症対策事業費等負担金1億8,808万円は、今回のワクチン接種に対し、国が示す基本接種費用を国が負担するものでございます。

その下の表になります。

同じく3目1節 説明欄の新型感染症対策事業費等補助金2億6,622万円は、今回の接種事業に対する費用の、費用に対する国の補助金となります。

以上で説明を終わります。

○健康福祉委員長（郷右近 修議員） 理事者の説明は終わりました。

これより質疑に入ります。

質疑のある方は挙手を願います。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 補正予算書の8ページ、9ページの真ん中の児童福祉費、児童館等管理運営事業の消耗品についてですけれども、こちらは消毒液スタンドということなのですが、これが当初予算に上げれずに今上がっている理由は何でしょうか。

○健康福祉委員長（郷右近 修議員） 答弁願います。

川原課長。

○子育て支援課長（川原静恵君） 上松町より御紹介いただいたタイミングが当初予算に間に合わなかったことと、速やかに設置をし、コロナ対策に備えるために今回の補正に上げさせていただきました。

以上です。

○健康福祉委員長（郷右近 修議員） 答弁は終わりました。

ほかに質疑は……。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 今のところでなんですけども、森林譲与税を活用ということなんですけども、当初予算ではウッドスタートのみが予算に上がっていたんですが、この木製の木曽ヒノキの消毒液スタンドを、これ、調べてみたところ、もう11月の時点ではもう開発ができてるようなんですね。なんで、その予算編成段階で上松町に聞き取り行っていたりとか、予算上程ぎりぎりまでそういった交渉とかしていれば間に合ったのではないかなと思うんですけども、そういったことは実施していなかったんでしょうか。

○健康福祉委員長（郷右近 修議員） 答弁願います。

（発言する者あり）

（委員長、発言を許してくださいの声あり）

○健康福祉委員長（郷右近 修議員） では、市長の入場及び発言を許可いたします。

小浮市長。

○市長（小浮正典君） これについては、上松町で、町と上松町内の木工事業者が協働開発を進めていて、実際に昨年内に上松町の公共施設には配置も終わっています。上松町さんとして、友好自治体である豊明市に紹介したいという状況が12月の時点ではもう生じてたんですけども、緊急事態宣言が起きた関係で、上松町の町長さんが、豊明市、あるいは豊明市近辺まで来るタイミングはなくて、緊急事態宣言が解除される前後ぐらいで、ちょっと何月何日か忘れちゃったんですけども、今月に入ってから私が上松町に訪問することがあって、そのときに待ってましたとばかりに御紹介いただいて、実際に自分も使用させていただいて、よくできている製品であるし、また、森林環境譲与税が使えることはそのときに明白だったので、それであれば、市に、豊明市に持ち帰って、豊明市で不足しているところだとか、あるいは子どもたちが木に触れ合う部分として、こういったところがふさわしいのか、数についてはどれぐらい本当に必要なのかは調整させて、調べさせていただきますということで、調べさせていただいた状態で、このたび補正予算案をこうしてまとめる段階になって、そのタイミングには間に合ったので、こうして今のタイミングで補正予算として計上させていただいた次第でございます。

以上です。

○健康福祉委員長（郷右近 修議員） 答弁は終わりました。

ほかに質疑はございますか。

清水委員。

(発言する者あり)

○健康福祉委員長(郷右近 修議員) 質疑をどうぞ。

○清水義昭委員 10ページ、11ページのコロナワクチンの関係ですけども、上から4段目、3段目なのかな、の土地等借上料なんですけども、これ、説明が今、中央公民館のための駐車場というような説明があったんですけど、まず、そこで間違いないでしょうか。

○健康福祉委員長(郷右近 修議員) 答弁願います。

浅井課長。

○健康長寿課長(浅井俊一君) 中央公民館、市役所に併設しておりますので、そちら、駐車場は共用になっておりますので、そちらのほうの補完部分ということでございます。

以上です。

○健康福祉委員長(郷右近 修議員) 答弁は終わりました。

清水委員。

○清水義昭委員 これは何日分、何台分になるのでしょうか。

○健康福祉委員長(郷右近 修議員) 答弁願います。

浅井課長。

○健康長寿課長(浅井俊一君) 一応、5月以降3月までという部分の、一応ちょっとどこまで確保できるか分かりませんが、一応20台分ほどの想定をしております。

以上です。

○健康福祉委員長(郷右近 修議員) 答弁は終わりました。

清水委員。

○清水義昭委員 これ、全額国費ということで理解、歳入が国費ですから国費というふうに理解しているんですけど、なぜ、これ、中央公民館のほうだけ駐車場を確保するような形になっているのでしょうか。南部公民館はどうなのでしょう。

○健康福祉委員長(郷右近 修議員) 答弁願います。

浅井課長。

○健康長寿課長(浅井俊一君) 特に中央公民館のほうにつきましては、そもそも物理的になくなってしまう形になるという想定をしているというところがございます。南部公民館につきましては、基本的には、市営の駐車場とかそういったところも一応ございます。有料になってしまいますけれども、そちらのほうをお使いいただくような想定で考えておるといってございまして。

以上です。

○健康福祉委員長（郷右近 修議員） 答弁は終わりました。

清水委員。

○清水義昭委員 新型コロナワクチンを打ちに、接種に南部公民館に訪れた方に対して市営の駐車場を無料でお貸しするとか、とかという検討はしていないんでしょうか。

○健康福祉委員長（郷右近 修議員） 答弁願います。

浅井課長。

○健康長寿課長（浅井俊一君） こちらのほう、今、現予算の段階では、そちらまでちょっと追いついていないという形になっております。

以上です。

○健康福祉委員長（郷右近 修議員） 答弁は終わりました。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 同じくワクチン接種の事業についてですけども、本会議でも債務負担行為で計上されていた金額よりも増加していると。その理由でちょっと分からなかったんですが、まず、その増加しているところで、予約受付等委託料で1,000万ほど増加しております。それから、予防接種委託料も1,000万ほど増加してます。延長による増額というような説明もあったんですが、その延長というのは、いつまでの期間の想定からいつまでの延長ということなのか。

それとあと、接種券作成の委託料も、1月の緊急議会で検討していたときには、市内の全員分、もう作成委託料で積算されていたはずなんですけど、こちら250万4,000円というのが計上されているんですけど、この理由をお願いします。

○健康福祉委員長（郷右近 修議員） 答弁願います。

浅井課長。

○健康長寿課長（浅井俊一君） 一応、順にお話をさせていただきます。

まず、先ほど、ちょっと整理をしますと、予約受付の部分でございます。

そちらのほうにつきましては、当初、9月ぐらいまでという形の積算をしていたということになりますので、そちらのほう、今回、一応12月までの積算にしているということ。それから、あとコールセンターのほうにつきましては、もう少し先の部分まで積算をしておりますので、その部分で増えているというところでございます。

あと、それから、予防接種の委託料、そちらのほうにつきましては、今回、大きく変わったところというのは、当初、ほとんど集団接種をベースにするような形で積算をしているという形になっておりました。個別接種はどちらかという、少しボリュームを小さくならざるを得ないという形で進めていたところなんですけれども、今回ファイザーワクチ

ン、取扱いの難しいファイザーワクチンについて、輸送するようなことというのが当初想定されなかったことが許可されたということで、医療機関のほうでもファイザーワクチンの取扱いができるという形になりましたので、その辺りにつきまして、かなり膨らませた形になっております。

医療機関に対する部分としましては、直接、国の単価の接種費用が出てまいりますので、その部分を従来よりも上乗せをしたということでございます。

それから、その接種券の委託料の部分のところ、ちょっとすみません、後でお答えをさせていただきます。それから、もう一個が……。

○健康福祉委員長（郷右近 修議員） 時間がある程度かかりますか。

○健康長寿課長（浅井俊一君） ちょっとお待ちください。

○健康福祉委員長（郷右近 修議員） では、ほかに質疑のある方。

三浦委員。

（発言する者あり）

○健康福祉委員長（郷右近 修議員） 三浦委員、どうぞ。

（思い出したの声あり）

（じゃ、先にどうぞの声あり）

○健康福祉委員長（郷右近 修議員） ありますか。

それでは、浅井課長。

○健康長寿課長（浅井俊一君） すみません。まず、1つは接種券の委託料のほう、こちらのほう、まず最初に想定しておりましたところの封入する内容について、予診票とかが先に入れられるような形になっていましたので、そちらのほうの印刷費用の部分、そこを上乗せしたような形、それから、あともう一つは、国の今進めております接種管理システムというのがあります。そちらのほうの費用に対するシステム改修のほうを今迫られている形になっておりますので、そちらのほうの予算を上乗せしているということでございます。

以上です。

○健康福祉委員長（郷右近 修議員） 答弁が終わりました。

ほかに質疑のある方は。

近藤ひろひで委員。

○近藤ひろひで委員 同じところですが、予約受付、接種の委託料が増えているんじゃないかという林委員の話がありましたけれど、説明にあったように、ワクチン接種のスケジュールがペンディングであって、いわゆる接種期間が長引く可能性があるということは当然事務費、人件費、そういった経費が増す可能性があるのでは、そういうプラスアルファが発

生するだろうと、あくまでも予算措置でありますので、そういった理解でよろしいですか。

○健康福祉委員長（郷右近 修議員） 答弁願います。

浅井課長。

○健康長寿課長（浅井俊一君） こちらのほう、先行きというのがある程度やっぱり不透明な部分というのがございますので、ある程度今考え得るところでの予算積算をしているというところがございます。

以上です。

○健康福祉委員長（郷右近 修議員） 答弁は終わりました。

三浦委員。

（そのとおりですの声あり）

○三浦桂司委員 よろしいですか。

（そのとおりですって小さな声で言われたけどの声あり）

○三浦桂司委員 11ページ、今のところですけども、高齢者交通支援負担金、課長の説明で、75歳以上、移動が困難な高齢者と今言われたんですけど、この前提条件がつくんですか、移動が困難なという。

○健康福祉委員長（郷右近 修議員） 答弁願います。

浅井課長。

○健康長寿課長（浅井俊一君） あくまで、一応その予算上は皆さんにお送りするような形にはなっておりますけれども、実際、例えば御自身で、近くの方で歩いていっていただくとか、それから、あと御自身の車で行かれるような方という方は基本的には移動ができる方という想定をしております。後期高齢者でもまだ運転免許をお持ちでいらっしゃる、ぱりぱり動いてみえる方見えますので、それらの方については基本的には対象にすべきではないというふうに考えております。ただ、その部分を抽出してよけるということではできませんので、今回こういう形の計上をしているということがございます。

以上です。

○健康福祉委員長（郷右近 修議員） 答弁は終わりました。

一色委員。

○一色美智子委員 今のところで、タクシーチケットの流れをちょっとお聞かせください。どういうふうにして、市民が電話をして申し込むとか、そういう流れをちょっと教えてください。

○健康福祉委員長（郷右近 修議員） 答弁願います。

浅井課長。

○健康長寿課長（浅井俊一君） 基本的には、あくまで実際に今でももう既に、例えば医療機関とかの送迎に使っていらっしゃる方も見えます。あくまで、タクシー会社と何かこちら、私どものほうで、その予約のところから関わるという形ではなくて、あくまで御自身が使っていただくときにそれが補助されるという形の想定になっております。

以上です。

○健康福祉委員長（郷右近 修議員） 答弁は終わりました。

清水委員。

○清水義昭委員 この高齢者交通支援負担金の1,800万円というのは、これ、負担金なんですけど、どこへ負担するものなんですか。

○健康福祉委員長（郷右近 修議員） 答弁願います。

浅井課長。

○健康長寿課長（浅井俊一君） チケットとして、基本料金としての部分をタクシー会社のほうに、の部分を負担しますので、その分を割り引く形になります。そこについて、その補填として、豊明市がタクシー運賃のほうを負担するというようなつくりになっております。

以上です。

○健康福祉委員長（郷右近 修議員） 答弁は終わりました。

清水委員。

○清水義昭委員 どこへ負担金をお支払いするんですかというふうにお聞きしています。

○健康福祉委員長（郷右近 修議員） 答弁願います。

浅井課長。

○健康長寿課長（浅井俊一君） すみません。タクシー会社のほうにということになります。

○健康福祉委員長（郷右近 修議員） 答弁は終わりました。

ほかに質疑は。

清水委員。

○清水義昭委員 初乗り運賃だけが対象というようなことというふうは今理解したんですけども、例えば75歳以上の方お二人、例えば夫婦でお乗りになられた方とかというような場合は両方とも使うとか、何というのかな、その料金に対してその利用がかかるのか、それとも、初乗りの本当に、今幾らなのかな、六、七百円ぐらいかな、のところだけにその券が通じるのか、その辺をちょっと詳しくお願いします。

○健康福祉委員長（郷右近 修議員） 答弁願います。

浅井課長。

○健康長寿課長（浅井俊一君） 制度のつくりとしましては、実際今ある、ほかの支援するもの、高齢者の外出支援とかそういったものと同じようなつくりになっておりますので、チケットを出して基本料金分を割り引くという形になります。ただし、複数乗られた場合については、そちらのほうを上乗せして二重に使うということとはできない形になります。あくまでそこで発生するのは、お二人で一緒に行かれたら、やはり料金としては同じですので、そこは負担する分になります。そういう分に対してそこで発生する費用を負担するという形になります。

○健康福祉委員長（郷右近 修議員） 小浮市長。

○市長（小浮正典君） 基本的にはそういう想定でおるんですけども、清水委員がおっしゃった御指摘ももっともなので、それについては、タクシー会社がそういった形でチケットを取り扱えるのかどうかについて検討させていただいております。タクシー会社の運転手に負担がかかって、それでは混乱してできませんということであれば、結局誰かはそれができて、誰かはそれはできないということになってしまうので、それが統一感を持って、どのドライバーさんも扱えるということであれば、そういったことも可能にできるようにはしたいというふうには思っています。これは市の持ち出しとして別にそれ以上のことは生じるわけではないので、それはおっしゃるとおりだというふうに思っています。

○健康福祉委員長（郷右近 修議員） 答弁は終わりました。

ほかに質疑は。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 今のタクシーチケットの件ですけども、今回75歳以上ということなんですが、豊明は65歳以上で免許証の自主返納の制度を設けていると思うんですけど、それで返納している方もいるかと思うんですけど、そういった方への移動支援、これは検討されてないんでしょうか。

○健康福祉委員長（郷右近 修議員） 答弁願います。

浅井課長。

○健康長寿課長（浅井俊一君） 基本的には今75歳以上ということで線を引かせていただいているということでございます。

以上です。

○健康福祉委員長（郷右近 修議員） 答弁は終わりました。

ほかに質疑は。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 今の高齢者の方、タクシーで来た方、接種会場にいらした方で、そういった方は帰りもタクシーを利用されるかと思えます。本会議でもありましたけれども、タクシーの車両の台数にも限界ありますし、なかなかタクシーがつかまらないということもあるのではないかなど。そういったときに、帰りのタクシーを待つ場所というか、待合の場所、そういうスペースの確保は何か検討されているのでしょうか。

○健康福祉委員長（郷右近 修議員） 答弁願います。

浅井課長。

○健康長寿課長（浅井俊一君） ちょっと想定がちょっと分からないところもあるんですけども、例えば中央公民館であれば、そちらのほう、タクシーを待つ、タクシーが巡回しているというわけではなくて、あくまで呼ぶ形にはなるかと思えますので、そういう想定でというところでの待合としては、玄関辺りで待っていただくような形、これは南部公民館でも同じかと思えます。ただ、南部公民館のほうですと、あそこに流れているタクシーがありますので、そちらのほうを拾っていただくということも想定する部分かなとは思っています。ただ、あまりたくさんの方が一度に使うという想定では我々としてはございませんので、御自身で行かれる方というのはかなり多いかと思っておりますので、そちらのほうについての部分でいくと、そんなに大きな、たくさん、待合のところ、人がたくさん滞るといようなことはあまりないのかなという想定でございます。

以上です。

○健康福祉委員長（郷右近 修議員） 答弁は終わりました。

清水委員。

○清水義昭委員 同じタクシーのところの件なんですけれども、例えば、前後駅にこの券を使って行きたいよという場合について、そこで、新型コロナウイルスのワクチンを打ちましたよということが分からなかったとしても使えるというようなことなんですかね。

○健康福祉委員長（郷右近 修議員） 答弁願います。

浅井課長。

○健康長寿課長（浅井俊一君） 基本的には、本来はいろいろ接種券を見せるとかっていう形もいろいろ考えておったんですけども、実際は、これ、中央公民館だけではなくて、医療機関のほうの往復の部分もやっぱり起こり得ると。どちらかの発着の、今のところ、今のところ、どちらかの発着、それから、スタートのところ、発着というか、着と出の部分です。そこが、その現場であれば、それなりに使えるという形の解釈にしようかなというふうに思っております。現時点ですけれども。

以上です。

○健康福祉委員長（郷右近 修議員） 答弁は終わりました。

近藤ひろひで委員。

○近藤ひろひで委員 確認で教えてください。75歳以上に配布予定の対象人数、それから単価、お聞きしたかと思いますが、改めてお願いします。

○健康福祉委員長（郷右近 修議員） 答弁願います。

浅井課長。

○健康長寿課長（浅井俊一君） 人数としては約9,000人になります。それから、単価というと……。

（単価というか、幾ら、どういうふうにお渡しするのかの声あり）

（初乗り想定500円の声あり）

○健康長寿課長（浅井俊一君） すみません。そちらの単価が、一応基本料金が上限という形で、500円までの基本料金分という形の掛ける4回です、ごめんなさい。

○健康福祉委員長（郷右近 修議員） 答弁は終わりました。

近藤ひろひで委員。

○近藤ひろひで委員 すみません、基本料金って豊明市、豊明交通さん、よく存じ上げているんですけど、たしか450円。

（そうですの声あり）

○近藤ひろひで委員 刈谷とか市外は600円。ですから、例えば、450円で済むってことはないと思うんですが、1乗車で使ったときに、500円がいわゆる初乗り云々じゃなくて分かりやすいのは乗車料金から1回500円が引けると、そんな理解でいいですか。

○健康福祉委員長（郷右近 修議員） 答弁願います。

浅井課長。

○健康長寿課長（浅井俊一君） 制度のつくりとしましては、現在、例えば障がい者、それから、あと高齢者の方について外出支援事業というのをやっております。そこで同じような形の基本料金が、500円上限の基本料金というものの補助を今やっております。その仕組みと全く同じような形の制度のつくりとしておりますので、500円券というよりは基本料金券という形の解釈をお願いしたいなというふうに思っております。

以上です。

○健康福祉委員長（郷右近 修議員） 答弁は終わりました。

ほかに質疑は。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 集団接種会場でのちょっと質問なんですけども、高齢者ではなくて

一般の方の接種になったときに、例えば子ども連れで参加される方とかというのが、そういう子どもを預けておく場所というか、キッズスペースとか、そういった場所も必要かなと思うんですけど、そういったものは設ける予定はないのでしょうか。

○健康福祉委員長（郷右近 修議員） 答弁願います。

浅井課長。

○健康長寿課長（浅井俊一君） 今、我々としましては、まずは高齢者の接種の部分に最大限の今、力を含めておりますので、今後、その辺りにつきましてはまた検討していくというような形で、実際に動いてみないと分からないという部分が実はたくさんございます。その辺りは順次調整をしてみたいと思いますのでということでございます。

以上です。

○健康福祉委員長（郷右近 修議員） 答弁は終わりました。

ほかに質疑はございますか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 ちょっと南部公民館で、ちょっと想像していただきたいんですけども、接種後に副反応を観察するというので15分から30分ほど観察時間が必要だと。その中で早めに予約時間で来てしまう方もいるかもしれない。また、先ほどの帰りのタクシーで待つ方もいらっしゃる。そうなってくると、南部公民館の中で密になってしまわないかという、ちょっと心配をしているんですけども、他市でシミュレーションで実際訓練をしてとかそういった自治体もあるんですけども、そういう訓練というのは実施する予定等ありませんでしょうか。

○健康福祉委員長（郷右近 修議員） 答弁願います。

浅井課長。

○健康長寿課長（浅井俊一君） こちらのほうにつきましては、いろいろな状況というのは想定できますので、いつという形ではちょっとなかなか公表しないような形にしようかなと思っておりますけれども、ある程度の部分で実施をするという形、もちろん机上のほうでは今既にもうやっておりますので、あとはどういう形で動くのかという職員の動き方も含めて考えていくというような形になるかと思っております。

以上です。

○健康福祉委員長（郷右近 修議員） 答弁は終わりました。

ほかに質疑はございますか。

清水委員。

○清水義昭委員 土地等借上料のところ、先ほどの御答弁で、南部公民館の前後駅の市

営駐車場のことについては追いついていないというような答弁だったというふうに、私、記録したんですけど、追いついていないの意味を教えてくださいませんか。

○健康福祉委員長（郷右近 修議員） 答弁願います。

小浮市長。

○市長（小浮正典君） そもそも論として、公共施設に行くときに途中から有料になってしまうのは、豊明市の場合、南部公民館だけなんです。ほかのところ、全然お金を取っていないんです。本来は、南部公民館もそうあるべきなんですけれども、あそこは駅に隣接しているものですから、周りに民間の駐車場があって、それと競合している状態で、市のほうが非常に有利な状態になると、だから、公共施設を使っていないのにそこを使用するということが行われることが容易に想定されるので、途中から有料になっているという制度になっているんです。そういったことで、同じことがこのワクチン接種においても行われることが想定されるので、我々としては行きやすいようにしたいと思っているんですけれども、それをどう、どこまで許して構わないのかということについてまでは検討できていない。ただ、あくまで最初の時点として駐車場を確保しないかんのです。市役所はそもそも、今、世帯数が増えた関係で、市役所を利用される絶対数が増えている状態になっているんです。そもそも駐車場が足りないところでこのワクチン接種を中央公民館でやる状態になっているものですから、駐車場のそもそもの絶対数を確保しないといけないので、まずは公用車で毎日使うような、頻繁に使うような車でない車を市役所から5分歩いたところの駐車場を確保すると。南部公民館周辺はそもそも絶対数として駐車場はたくさんありますので、絶対数が足りないってことはない。問題として残るのは、そこについては、市役所の中央公民館を使うときには無料なのに、こっちに行くときは有料になってしまうという問題が残ってしまうんですけれども、そこまでの検討は追いついていないということで御理解ください。

絶対数を、まずは、そもそも駐車場の絶対数を確保しておかないと、そもそもこの制度に行けないんです。それを御理解ください。

○健康福祉委員長（郷右近 修議員） 答弁は終わりました。

三浦委員。

○三浦桂司委員 ワクチン接種というのは、高齢者の人の情報源というのは往々にして口コミが使われる場合があるわけで、このタクシー券とかクーポン券、どのように周知して徹底される予定なのか、方法は、あればちょっとお聞かせ願いたいと思いますが。

○健康福祉委員長（郷右近 修議員） 答弁願います。

浅井課長。

○健康長寿課長（浅井俊一君） 現時点では、ちょっと、これはどういう形になるか分かりませんが、別の、接種券とは別な形でお送りするような形になるのか、何とか突っ込めるのかというのはちょっと今まだ実は調整中にはなっているところでもありますので、そのタイミングで周知をさせていただくという形になるかと思っております。

以上です。

○健康福祉委員長（郷右近 修議員） 答弁は終わりました。

ほかに質疑はございますか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 予約受付の委託、コールセンターの委託と、あと集団接種会場の委託、委託事業者がそろそろ決まっているのかなと思うんですけども、どういった事業者で、どういう業種とか実績とか、そういったことを教えていただければと思います。

○健康福祉委員長（郷右近 修議員） 答弁願います。

浅井課長。

○健康長寿課長（浅井俊一君） まず、予約受付業務のところにつきましては、旅行会社というようなところを想定をしております。なぜかと申しますと、やはり、その例えは接客のノウハウとか、そういったようなところというのは、非常にできるものがございすし、その予約のシステムのところにつきましても、たけている部分がございますので、そちらの方たちのほうに委託をするという形をお願いしてします。

それから、あと、接種のほうにつきましては、健診機関を想定、予定をしております。なかなか医師でというところだと、かなり限定されてまいりますので、健診業者ですね、いわゆる、そちらのほうに、予防接種とか打っているノウハウとかいろいろございます。あと、会場運営のノウハウもございますので、そちらのほうにお願いをするという想定でございす。

以上です。

○健康福祉委員長（郷右近 修議員） 答弁は終わりました。

ほかに質疑は。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 先ほどの件、ちょっと確認ですけど、まだ契約は決まっていないという、そういう認識でいいんですか。

○健康福祉委員長（郷右近 修議員） 答弁願います。

浅井課長。

○健康長寿課長（浅井俊一君） 随意契約の方向で今、調整中というところがございます。

実際、予約受付のほうにつきましては、もう既にコールセンター的な部分は、窓口の部分は既にスタートして、細々スタートしている形にはなっておりますので、そちらの部分について済んでいるという形です。

以上です。

○健康福祉委員長（郷右近 修議員） 答弁は終わりました。

ほかに質疑はございますか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 仮に、想定しているよりも、接種する方、予約する方が少なかった場合、ワクチンが余ってくるということも可能性としてあると思うんですけど、その場合はどのようにして対応するのでしょうか。

○健康福祉委員長（郷右近 修議員） 答弁願います。

浅井課長。

○健康長寿課長（浅井俊一君） ワクチンにつきましては、基本的には、日本人の人口の接種できる部分の2回接種部分というのはある程度確保できる形になっておりますので、当然接種率が100%に行かない限りは余ってくる部分はあるかと思っています。費用の話をしてはいけませんけれども、我々の負担ではない形になるかと思っていますので、そちらの部分は、ちょっと残のものをどうするかというのはまだそこまで国のほうもまだ検討が回っていないという形だと思いますので、我々はちょっとなかなか今申し上げにくいかなというふうに思っています。

以上です。

○健康福祉委員長（郷右近 修議員） 答弁は。

（補足しますの声あり）

○健康福祉委員長（郷右近 修議員） それでは、小浮市長。

○市長（小浮正典君） 基本的に、今の健康長寿課長の回答とおりになんですけれども、高齢者にまず接種いただくようにするんですけれども、次のグループ、最終的に一般グループというふうになっていくので、その接種券を送るタイミングが、全体に高齢者の方々があまり接種しなければ、当然ながら後ろのグループが早く接種券が送られて予約できる体制になっていくというふうに御理解ください。

○健康福祉委員長（郷右近 修議員） 答弁は終わりました。

ほかに質疑はございますか。

（進行の声あり）

○健康福祉委員長（郷右近 修議員） よろしいですか。

それでは、質疑を終結し、討論に入ります。

討論のある方は挙手を願います。

清水委員。

○清水義昭委員 コロナワクチン接種の関係で1点だけ御要望を申し上げて、賛成の討論をします。

中央公民館のほうに車でいらっしゃる方は駐車場代が無料、ただし、南部公民館のほうは、今のところ追いついていないというような形ですけれども、現状では有料の駐車場に止めていただくというような形になっていると思いますので、そこら辺は不平等は起こらないように改善していただきたいということで賛成です。

○健康福祉委員長（郷右近 修議員） ほかに討論はございますか。

近藤ひろひで委員。

○近藤ひろひで委員 本会議場でなくて、ここで討論させていただきます。

ワクチン接種、供給量とかスケジュールはあくまでもまだ未確定なところで今スタートされるわけなんで、いろいろ御苦労があるかと思います。

それで、まず最初に、70を超える高齢の方から接種をしていくという中でいろんな問題点とか、いろんなものが発生していくはずなので、その後の年齢的な順番のスケジュールにおいては、それを研究してフィードバックされて、もうこれ流動的になるというのも致し方がないという判断をしますので、スタートに際しては全くもう反対するところはありませんので、そういった理由で賛成といたします。

○健康福祉委員長（郷右近 修議員） ほかに。

三浦委員。

○三浦桂司委員 児童クラブでの消毒液のスタンド、金額は少額ですけれども、即日に決済される場合はちょっと写真などでイメージが分かると、よりいいかなと思います。

それと、コロナワクチンの接種については、いつ、どこで、どれだけ豊明に来るのか分からない状況なんで、このようなクーポン券が来ることを、また高齢者の人にしっかり周知していただくことを要望します。

賛成です。

○健康福祉委員長（郷右近 修議員） ほかに討論。

一色委員。

○一色美智子委員 アルコールのスタンド、これは本当にぬくもりを感じます。子どもたちの優しさ、癒やしにつながればなと思います。

高齢者のワクチン接種についてですけれども、感染拡大に歯止めをかけるコロナウイルス

ワクチン接種は、大きな期待が寄せられております。今回の補正予算で、高齢者の方のタクシーチケット、足の確保の予算計上していただきましたことに感謝を申し上げます。どうか柔軟に入念に対応していただきたいなと思いますので、その辺くれぐれもよろしくお願いいたします。ワクチン接種は私たち一人一人の健康を守り、感染の蔓延を防ぐことが目的です。混乱なく、安心して受けられるようお願いいたします。

以上です。

○健康福祉委員長（郷右近 修議員） ほかに討論は。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 賛成の立場で討論します。

まず、消毒液スタンドについてですけれども、基本的にはこの森林贈与税の活用方針をしっかりと定めた上で、情報収集に努めて、基本的には当初予算で計上していただきたいというふうにお願いします。

それから、ワクチン接種については、やはり早急に体制を整えていくべきかなというふうに思います。その上で4点ほどお願いします。

1点目は、しっかりシミュレーションをして、課題を洗い出して取り組んでいただきたいということ。

それから、2点目は、ワクチン接種の会場ですけれども、個別接種の会場でも20か所程度ということで、それでは、予約が埋まってしまうんじゃないかなという心配であったり、南部の方の中でも、南部公民館はちょっと行きづらいというようなお声もいただいておりますので、柔軟に様々な場所、幅広く接種できるような場所を確保していただきたいというふうに思います。

それから、3点目は、75歳未満の方の移動手段がない方、そういった方への配慮、運転免許証を返納している方もいらっしゃいますので、そういった方への支援も検討していただきたいと。

そして、4点目は、ワクチン接種は、今、市民の方にとっては非常に関心の高い内容ですので、できるだけ早い段階でホームページなどで公表や説明をお願いします。

以上のことを要望いたしまして、議案には賛成とします。

○健康福祉委員長（郷右近 修議員） ほかに討論はございますか。

（進行の声あり）

○健康福祉委員長（郷右近 修議員） よろしいですか。

それでは、討論を終結し、採決に入ります。

議案第39号のうち、本委員会所管部分については、原案のとおり決することに御異議ご

ございませんか。

(異議なしの声あり)

○健康福祉委員長(郷右近 修議員) 御異議なしと認めます。よって、議案第39号のうち、本委員会所管部分については、全会一致により、原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上で、本委員会に付託されました案件の審査は終了いたしました。

お諮りいたします。委員会報告書については私に御一任願えるでしょうか。

(異議なしの声あり)

○健康福祉委員長(郷右近 修議員) ありがとうございます。

委員会報告書については例に従い提出をさせていただきます。

慎重な御審査、お疲れさまでした。これにて健康福祉委員会を閉会いたします。

午後5時14分閉会